

「高等部になったら」と考えて準備に臨む - 中高一貫教育の始動 -

いよいよ高等部2年生と3年生の「現場実習(前期)」が始まります。来週 5/28(火曜)から3日間、実習先へのあいさつ回りです。そのような中、『つながりが創る豊かな教育』をテーマに、高等部の先生方の全面協力のもと、中学部3年生による「高等部体験学習」がスタートしました。この取り組みのきっかけについては、『校長の窓(vol.2)中高一貫キャリア教育の推進』で紹介していますのでご覧ください。

さて、中学部3年生による「高等部体験学習」は、高等部の作業学習等に月1回参加し、1年間を通じて作業班をすべて体験できるように計画されています。実際には、「体験前のめあての設定—体験—体験後の振り返り」を一連の学習として繰り返していきながら、生徒が自分なりに高等部や高等部卒業後の生活を具体的に考えて準備していくことの大切さを学んでいってほしいと考えています。

準備と練習の大切さは誰もが分かっています。しかし、準備と練習に必要な子どもたちでもあります。ですから、1年間かけてじっくり、ゆっくりと子どものペースで取り組みを前に進めてまいります。

下の写真は、高等部(中高一貫教育推進担当)の先生によるオリエンテーションの様子です。事前に開催した「中高一貫教育推進委員会(第1回)」では、先輩の姿を通して生徒たちに「何を見つめさせたい?」か、みんなで意見を出し合いました。そこでは、大きく三つのポイントが挙げられ、それらをオリエンテーションで生徒に伝えてもらいました。

- ① 姿勢や態度(挨拶、返事、報告、話の聞き方など)
- ② 自分を振り返る(今の自分に足りているもの、今の自分に足りていないもの)
- ③ あこがれ(高等部、作業班、先輩)

実施後、中学部3年生の何人かに感想を聞いてみました。

○先生に報告している先輩の姿勢が良くて、その姿がかっこよかったです。

○木工班に入りたい!と思いました。

○自分もアビリンピック(障害者技能競技大会)で全国大会に出てみたいです。

高等部(中高一貫教育推進担当)の先生にも感想を聞いてみました。

○各作業班で、私の話を思い出しながら、自分から先輩や先生に質問している姿を見て嬉しかったです。

○真剣なまなざしで聞く態度も素晴らしかったです。また、1か月後が楽しみです。

もっと自由な発想と挑戦を楽しむ境地で鶴南の教育を創る

- 「R6 年度 学校運営方針」でめざす! -

